

ROTARY SERVING HUMANITY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度RI会長

ジョンF.ジャーム

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13

TEL/FAX : 0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30

大磯プリンスホテル

TEL : 0463-61-1111

FAX : 0463-61-6281

会長 百瀬 恵美子

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 井上 浩吉

第2411回 例会

平成29年6月15日 No.34

■司会：大藤 勉

■点鐘：百瀬 恵美子

■合唱：手に手つないで

◇プログラム・6月22日：夜間例会・クラブ協議会・納会 ・6月29日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2411回	14(12)	8	66.67%	—	—
2409回	14(12)	7	58.33%	1	66.67%

◇欠席者(4名)

宮澤、原、太田、石山さん

◇メイクアップ(1名) 河本さん

◇ゲスト：桜川誠さん＝(株)カトー二宮営業所所長(会員候補者)

◇出席報告

河本親秀委員

本日は(株)カトーの桜川さんがお出で下さいました。私たちの仲間になって頂けることを嬉しく存じます。

今朝太田さんから連絡があり、5・6月は多くの企業で株主総会があり、代表者が替わるころが多く、その印鑑を作る仕事に追われて6月いっぱい出席できないとの事でした。事業の繁盛おめでとうございます。

◇会長報告

百瀬恵美子会長

いよいよ来週を以て今年度が終了します。1年間皆様のご支援を頂いて何とか無事にここまで来れたかなとほっとしている毎日です。



ほっとしてられない事が一つあります。ホームステイの事が気になっていて。天野さんが8月、9月と1ヶ月半お願いできていますが10月からは全くゼロでありますので、皆さんアンテナを上げて頂いて、交換学生を大磯で支えてあげたい。人脈を使って、情報交換を宜しく宜しくお願いします。

来週22日は納会／総会です。宜しくお願いします。

◇幹事報告

井上浩吉幹事

・2019年規程審議会提出決議案承認のお知らせ。

・2780地区2017-18年地区大会親睦ゴルフコンペの案内

・米山奨学会主催クリーンキャンペーンのお知らせ：

日時：2017年7月16日(日)11時

集合場所：小田急片瀬江ノ島駅

清掃場所：片瀬海岸

親睦会会費：3000円



回覧

- ・ハイライトよねやま207
- ・週報:志木RC
- ・交換学生チタス君のホームステイ先募集リーフレット。募集期間=7月1日~31日

◇委員会報告:

☆スマイルボックス

・百瀬恵美子さん: 来週の総会を残す日程になりました。桜川さん、ようこそ楽しんで下さい。

・新宅文雄さん: 桜川さん待っていました。よろしく!

・田中敏治さん: 桜川さん、ようこそ、宜しくお願いします。

田中敏治さん



☆「紛争で故郷を追われた南スーダン難民によるサッカーチーム設立!」プロジェクト

河本親秀さん

先日例会卓話にきてくれたバングラデシュ国際協力隊(BICP)を発展させた、コンフロント・ワールドの原貫太君からメールが参りました。ウガンダ難民の子供達を励ますためのサッカーチームを創る資金を得るために「クラウド・ファンディング」を開設したので協力をお願いと題して、下記のメールが参りました。



原貫太君のメール:

いつもお世話になっております。

ウガンダ北部での活動を終えて日本に帰国してから、早いもので3か月が過ぎようとしています。書籍や講演を通じて度々お話していますが、現在進行形の紛争により傷つく南スーダン難民との出会いは私に多くのことを考えさせ、今でも時々、現場で出会った難民の方々の顔を思い出します。

今日は河本さんに一つお願いがあり、ご連絡を差し上げました。

2013年12月から紛争が続く南スーダンですが、周辺国には180万人以上の難民が流出し、私が滞在していたウガンダには90万人以上もの難民が避難するなど、「世界で最も急速に深刻化する難民危機」と

形容されるに至っています。殺害やレイプの現場を目の当たりにした子どもたちや若者は心に深い傷を抱え、居住区では厳しい生活環境のために難民の間でも軋轢(あつれき)が生じています。

厳しい現実を現地で見せられながらも、一つ印象的だったことがあります。そんな過酷な状況下であっても、難民居住区では「サッカー」が彼らにとっての心の癒しとなり、交流やコミュニケーションを促すための一つの手段になっていました。

今回、居住区の現地リーダーから聞いた「難民の若者によるサッカーチームを設立したい」という声を踏まえ、5月31日から日本最大のクラウド・ファンディング・サイトReadyfor?にて

*「紛争で故郷を追われた南スーダン難民によるサッカーチーム設立!」プロジェクト を行っています。6月30日までの一か月間で、50万円の調達を目指しています。

私たちがサッカーチーム設立をサポートして交流を促進し、若者への活躍場所を創出することで、難民の若者たちはフラストレーションを発散することができます。同時に、子どもたちもサッカーを通じて紛争の記憶を少しでも忘れられることができると考えています。

南スーダン難民たちの声、ニーズ、課題、そして「夢」が詰まった今回のプロジェクト、どうか皆様からのご協力をお願いできますでしょうか。皆さまから頂いたご支援は、私たちが責任をもって「南スーダン難民の若者によるサッカーチーム設立プロジェクト」へと使わせていただきます。

原貫太 拝

編集者「注」

クラウド・ファンディング・システムでは寄付が6月末までに目標額50万円に及ばない時は応募した金額は無効になります。一昨日、クラウド・ファンディングの頁で確認しましたら、既に465,000円集まっていました。

原君の行動が早くて、我々ついていけないところがありますが、懸命に頑張っている若者を是非応援してあげたいと思います。

●クラウドファンディングの詳細は以下リンクの特設ページよりご覧になれます。

→<https://readyfor.jp/projects/confrontworld>

皆様のご協力をお願い致します。

クラブ・フォーラム

交換学生の受入について

百瀬カウンセラー：



- ・学生=Titus君=が来るのは8月19日
- ・学生オリエンテーション：8月26日
- ・第1ホストの天野さんには書類を頂く事になっている。
- ・来日の日が決まれば私が成田か羽田かに迎えに出ます
- ・10月からのホームステイ先が決まってないので夜も眠れないほど気になっている。
- ・最悪2780地区内で探して貰うしかない・・・彼もホームステイ先が決まらなると不安だし、安心させてやりたい。

ホスト・ファミリー・マニュアル

- ・**学生をお客様扱いにしない**：自分の子供だったらどうする。基本的に甘やかさず、愛情を持って育てるといふ姿勢が大切。親族の子を預かる感覚がいい。
- ・**小遣い、通学費、学校の制服、教材費、修学旅行、留学生の保険、ロータリー行事への参加費用**：全部大磯クラブで負担します。それ以外の日常の出費はホストファミリーの負担が原則となっている。これはロータリーにおける行為は自らなる意思に基づく奉仕を基本とする事、すなわちボランティア・ホストを務めると言う事にある。しかし現在当地区にあってはホストファミリーへの若干の補助金をお渡しする事とします。これは基本的にホストファミリーへのお礼であり、実費を保障するものではない。半期で45万円年間90万円大磯クラブに来ます。どれだけをホストクラブに出すかはクラブに任されています。

る。その他に第8 グループから60万円(会員一人当たり3千円、200人前後)計150万円。

・**家族の一員としての義務**：各家庭ではルールがあると思います。交換留学生は家族の一員ですから、当然ながらそのルールを守らせて下さい。但し宗教に関しては決して強制しないで下さい。自分の身の回りの事は勿論、家族の手伝いなども積極的にさせます。おうする事によって日本の習慣も理解できるようになります。男でも自分の洗濯、アイロンかけをする子がいます。来日直後は習慣の違いにたずかる戸惑いもあり、言葉も思うように通じないとかかなりストレスが溜まる。こんな時には家族の愛情が必要です。暖かい気持ちで包んであげて下さい。

ホストファミリーだけに負担を掛けるだけでなく、我がクラブも日曜日などに連れ出して上げるなどすべきだと思います。

学生が来日した時、ホストファミリー、学校、我々が集まって打ち合わせ会議をしてどんな連携を取り合って行けば良いかを決める事が大事と考える。

・**三食の食事はホストファミリーの責任においてお願いします。**

・**学校での昼食**の場合、お弁当を持たせるか、昼食代相当のお金を渡して下さい。友人の家に食事に招かれた場合は例外です。

・**食事の内容**：ホストファミリーのお母さんが気にされて特別な料理を作られる事はありません。普段通りの食事で構いません。用意した日本料理を食べられないからと言って、心配する必要はありません。最初は食べられないものでも、やがて慣れて日本食を食べるようになります。日本食が大好きになります。カレーライスや天ぷらは大好きだそうです。

・留学生には最低3回はチャレンジする事をオリエンテーションで指示します。

・**門限は午後10時と決めて下さい**：慣れてきて、誰かの所は門限がないとか、誰かの家は12時迄でよいとか言う留学生の言葉に負けないよう毅然と10時を守って下さい。

・**地域の交通に関する事情**：学校までの道路の順番、自宅付近からの交通機関の利用方法を教えて上げて下さい。当分の間は迷子札を持たせるのも一つの方法です。

・**緊急災害に備えて**：地震、火災などの緊急時に備えて避難所、避難方法を教えておく必要があります。

・**病気や怪我**：どんなに健康に自信のある生徒でも、気象、食べ物の違いなどでダウンする事もあります。海外と日本の交通事情も違いますので、交通事故による怪我也考えられます。何れの場合も直ちにクラブとカウンセラーに報告し治療費は保険でカバーします。

・**ホームシック**：ホームシックには程度は別にしても誰でも一度は必ずと言っていいほど罹ります。問題はそれを自分の気持ちの中で解決できるかどうか。殆どの子は旨く処理しているようですが若しそれが難しい場合は皆さんの助けが必要になります。話し相手になって上げる事が一番です。重症の場合はクラブのカウンセラーに相談して下さい。地区の委員会もお手伝いします。(地区委員会は森さん、ガバナー事務所は望月さん)

・**日本語教育**：日本語を覚える事は大変重要です。ホストファミリーは留学生に日本語を教える先生でもあります。毎日少しずつ正しい日本語を教えて上げて下さい。日本文化を知るための習い事、お稽古事は本人の希望があればやらせて下さい。月謝などについてはクラブカウンセラーに相談下さい。

・**宗教について**：毎週教会へ行く子は少なくなりましたが、どうしてもという場合は宗教に合った教会を近所に見つけて上げて下さい。

・**プライベートな時間**：気を使いすぎて四・六時中側についているというのは行き過ぎです。時には手紙を書いたり本を読んだり、或いは1人で散歩させたりするようなプライベートなタイムを大切に上げて下さい。

・**留学生のホームステイ先の過ごし方**：留学生には夕食後出来るだけ家族と一緒に過ごすように指導してあります。英字新聞は必要ありません。テレビの映画番組等も二カ国語放送も日本語で見ると良いでしょう。

・**スケジュールの調整**：最初のうちは何も分からなかった彼らもやがて自分の時間を作る余裕が出てきます。学校が休みの日は友達と出かける約束をするようになります。ホストファミリーの皆さんが何処かに連れて行く計画を立てても彼ら自身の計画と重なる場合もあるので、前もってスケジュールの打ち合わせをして下さい。ホストクラブ、来日学生のオリエンテーションの時にも前もって行事予定表をお渡ししますので、地区ROTEX行事の日程を確認し、それに欠席する事のないように本人にスケジュール調整をするように指導して下さい。

・**ロータリークラブの例会・講演会**：例会に出席する事やその他の講演会に出席する事は留学生が親善

大使としての大切な義務の一つです。皆さんの親戚を招いてのミニ講演会、町内会、婦人会、子供会、近所の小学校等のあらゆる団体で講演する機会を与えて下さい。

・**小遣い**：月1万円とします。携帯は月3千円、をクラブから出します。それ以外は出さないで下さい。これは他のホストファミリーとの兼ね合いがありますので厳守して下さい。

・**地区外への外出・旅行**：ロータリーの許可が必要です。友達とだけの泊まりや旅行はゼツタイ駄目です。海外旅行はましてゼツタイ禁止ですが修学旅行は例外を認めます。

・**プレゼント**：クリスマス、誕生日に留めて下さい。決して高価な物は贈らないで下さい。

・**国際電話**：本人負担になる決まりになっています。国際電話を掛ける場合は必ずホストファミリーの許可を得てから電話をし、向こうから掛け直して貰うか、コレクトコールを利用するようにしています。

・**ネットサービス**：無料サービス利用をお勧めします。交換留学生に対しては最初の3ヶ月は国際電話をしないよう指導しています。

・**携帯電話**：本人の帰宅時間、居場所を確認するのに便利なものです。ホストクラブの負担で留学生に持たせて下さい。上記の使用目的を勘案して契約タイプを選んで下さい。これらの事を説明して必要最低限の使用をさせて下さい。

・**Eメール**：ホスト宅でのEメールの使用については、特に大きな時差のある母国との連絡を取る場合は便利であり費用の点でも国際電話によるより遙かに安上がりです。しかし来日後3ヶ月は電話を含めて原則禁止です。事前に使用上の心得、注意をしっかりと話しておく事が望ましい。使用時間を限定する事もきちんと約束して守らせるようにしましょう。

・**インターネット**：現在学生は様々な資料をインターネットで検索して調べているのが実情です。またEメールについてもウェブメールを使用しますので必ずインターネット接続環境が必要になります。既に接続環境の整ったホストファミリーは使用の許可をお願いします。未だ接続環境が整っていないホストファミリーはホストクラブと検討の上、接続環境の整備をお願いします。今では通話機能のあるSNSがあり、国内外を問わず通話やメールが出来る便利なアプリがありますので有効活用をお勧めします。利用時間についてはインターネット使用制限を設け、使用時間を1日1~2時間迄と決めて下さい。

・**帰国前の荷物の発送**：帰国が近くなると荷物が山のように増えてきます。帰国1ヶ月前になりました

ら船便で不要な荷物を発送させて下さい。費用は本人負担です。後からトラブルにならないためにも事前に話し合ってください。

・**禁止事項**：留学生は次の事を禁止されています。違反の内容によっては強制送還されます。

ロータリーの四つのルール／4Dルール

(1)自動車、オートバイ、船、飛行機の運転、グライダー等の危険な乗り物は駄目。危険なスポーツ禁止。Drive

(2)飲酒禁止 Drink

(3)シングル(1対1)デート禁止 Date

(4)麻薬＝ドラッグ＝禁止 Drag

以上の4つはきつく駄目と指導しております。

・**学生とのトラブル**：学生とホストファミリーには相性があります。それが合わない場合もあります。ホストファミリーを引き受けたからゼッタイ最後までやらなければならないという決まりはありません。難しいなと思ったら遠慮せずにカウンセラーに相談して下さい。解決できない場合は出来るだけ速やかに別のホストファミリーに移動します。その他あらゆる事にロータリークラブのカウンセラーが相談を受けます。

以上



以上の情報について質疑・応答があった

1. 地区より年間90万円の補助金＋第8グループより60万円の支援金がある。この中からホストファミリーへの補助金を出す。
2. ホストファミリーの負担は食事代だけ。
3. クラブでイベントを組んでホストファミリーを支援する必要がある。
4. 地区で月1回イベントを開催します。
5. 出来るだけ早くホストファミリーを決めて来日学生の不安を取り除いて上げたい。
6. 天野さんは前に預かって下さったブレンダ・リ

リーと今も交流があるとの事。

☆新宅会長エレクト：

次年度に向けて確認したい事：

1. 次年度より例会は月2回＝第1, 第3木曜日とする。
2. 新入会員の会費は22万5千円
3. 法人会員＝代理或いは副登録者を登録できる＝を認める。

以上をクラブ細則で決める必要がある。納会の時に原稿を準備して(河本担当)諮る。

以上